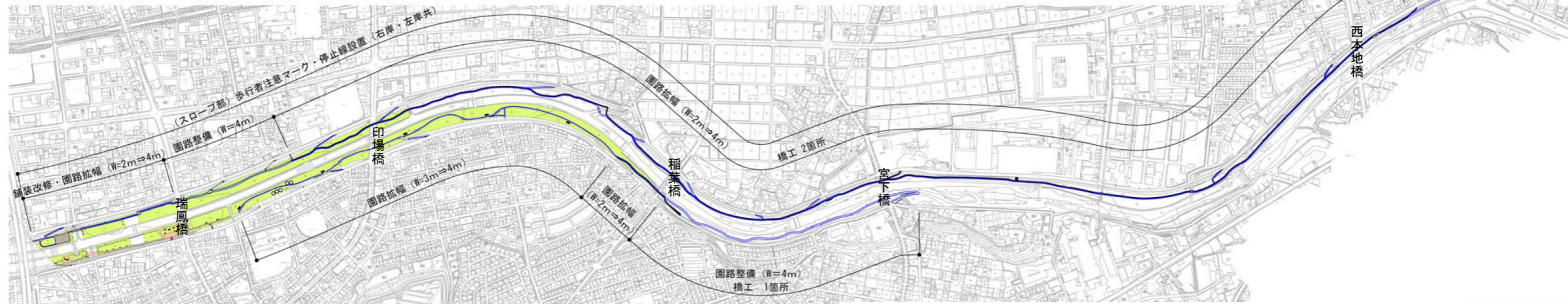
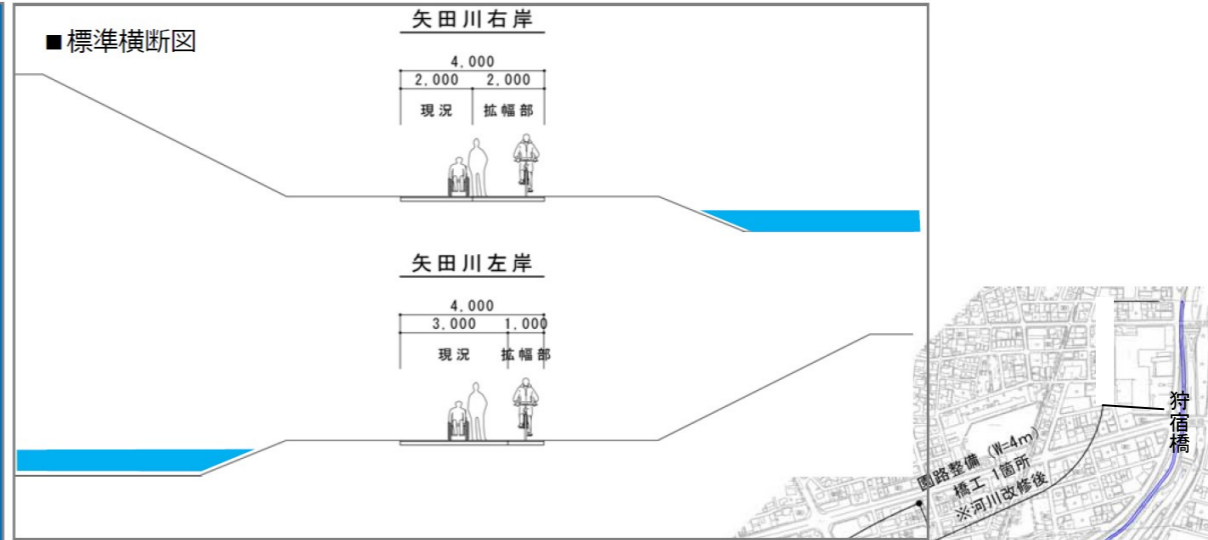


矢田川自転車道基本設計

■設計方針

- ・河川緑地内であり、歩行者が安全して散策できるように歩行者優先とする。
- ・自転車利用者、歩行者共に安全に利用できるように自転車と歩行者の共存を図り、自転車道は散歩道と並走する形で整備する。
- ・自転車道は、散歩道を拡幅する形で整備する。
- ・拡幅後の幅員が、原則 4m となるよう整備する。
- ・河川緑地への進入路であるスロープは、ユニバーサルデザインの観点から未舗装箇所において舗装整備を行う。
- ・スロープと散歩道との合流箇所において、自転車利用者への注意喚起表示や停止線を路面に明示する。
- ・矢田川左岸の宮下橋下流から稲葉橋へと続く散歩道は、構造的に拡幅が困難であり、また、上の山町周辺住民の利便性向上を図ることができるため、高水敷への自転車及び歩行者通路の新設を検討する。
- ・矢田川右岸のやすらぎ歩道へと接続する箇所から上流側については、今後河川改修後に瀬戸市境まで延伸する計画とする。
- ・今後必要に応じて歩行者用の脇道整備も検討する。



■整備イメージ

矢田川右岸 2m拡幅イメージ



矢田川左岸 1m拡幅イメージ



矢田川自転車道計画 右岸 L=5.2km
左岸 L=2.8km

※令和2年度より、右岸西側から順次整備予定